

道路技師 黒川 政顯
願ニ依リ本職ヲ免ス(以上七月内閣)

奈良縣道路主事ニ補ス 道路主事 滋井善十郎

山口縣道路技師ニ補ス 道路技師 加藤 平吉

山口縣土木技師ニ補ス 土木技師 和田 秀夫

○七月二十三日

道路技師 伴 雅太郎

道路技師兼土木技師 米野 綱太郎

(各通) 土木技師兼道路技師 原田 春三

土木技師 櫻井 哲三

土木技師 高堀 育三

土木技師 小笠原 兵衛

土木技師 廣石 匡

土木技師 三城 佐市

土木技師 金坂 虎次郎

道路主事 武田 省吾

道路技師 瀧田 昇平

道路技師兼土木技師 赤須 義一

土木技師 尾崎 義之

土木技師 中倉 信之

土木技師 宮藤 安之

土木技師 寺本 伊三郎

土木技師 名越 次郎

土木技師 牛尾 房吉

道路主事 陸シテ高等官六等ヲ以テ待遇セララル

道路主事 陸シテ高等官七等ヲ以テ待遇セララル

島 幸之助

(以上七月内閣)

(以上七月内閣)

編輯室の内外

炎熱九十度の下で、八月號の編輯を終らむとす、老齡の勢であらうか原稿紙の罨が見えないとき、不味い名を得た内務省のアイスクリームを飲む、味は判らない、涼味五臓に互つて終日の熱苦を忘れしむ、此味此快は到底殿上人の知らない所、蒸し暑い編輯室で筆とる吾人は此意味に於て所謂幸福者であるか。

幸福の序なら、今世上に流行してゐる幸運の手紙、田中編輯御大の處に届いた、表而は田中事務官殿とある、裏面には静岡縣廳にて坂本事務官とある、御大の曰くマサカ坂本でも、斯様な馬鹿な眞似はすまい、迷信家坂本薩ハサマと書いて返却せよとの御命令、編輯小僧は命令の通り取計つたら

今度は又坂本事務官から返却して来た、トウ、本人の行爲であることを確めた。

警視廳が此の種行爲者は低級者ばかりと思つたら、按外知識階級者にもあると言つたが、編輯子はマサカと否定してゐたのに今編輯御大宛ホンものを拜見して驚いた、御大の曰く此の手紙を紙上に發表して七千の讀者に幸運を分配せよと、併し誌上は不幸此種迷信を披露するだけの餘裕が無い、故に一言して讀者に幸運を分配する。

本號定價 五拾錢
一ヶ年分 金六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團 道路改良會
發行兼 上山陸造
編輯者 東京市小石川區諏訪町五十六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武